



JICA モンゴル国 助産師 卒後研修強化プロジェクト 2022年11月11日(金)開催



2022年11月11日(金)に、JICA モンゴル国助産師の卒後研修強化プロジェクト活動の一環として、本学にモンゴル国助産師の方々が研修に来られました。当日は、天候に恵まれ、小春日和の1日でしたが、気温よりも非常に熱い議論が展開されました。

*2022年は日本・モンゴル外交関係樹立50周年の記念の年

大学校長 萱間 真美先生 ご挨拶
大学校と青空のスライドを背景に
ご挨拶いただきました。

保健省 行政管理局
局長 Dr. P. Erkhembayar
ご挨拶



講師の先生方全員からご挨拶しました。



国立看護大学校を背景に記念写真



研修講義：以下のタイトルで講義をしました。

渡邊 香 准教授
日本の助産師基礎教育と
国立看護大学校の
カリキュラム



飯野 京子 看護学部長
国立看護大学校の概要



日置 智華子 准教授
基礎教育から現任教育へ
分娩介助技術について



記念品

大学校への記念品として、パオを模した缶入りのお菓子をいただきました。現在、缶は図書館にて展示中です。



研修受講風景

日本での助産教育のご講義を受けて、熱心な質疑応答が行われました。

また研修の様子はモンゴル国の関係者ともオンラインでアクセスしていました。学びへの熱意ある姿勢に感嘆しました。

分娩介助技術演習

母性・小児看護実習室にて分娩介助技術の演習を行いました。通訳を介しての演習であったため、通常よりもコミュニケーションに時間がかかりましたが、熱い議論が交わされ、日本流とモンゴル流で分娩介助の実演が行われました。日本とモンゴル国の助産師の熱意に圧倒されました！！

